



事務事業名	美術館講座等開催事業	担当部	教育総務部	担当課	吉澤記念美術館	担当係	
-------	------------	-----	-------	-----	---------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成14年開館記念展の講演会の開催を契機に、展覧会のみではなく、実技体験・講座・コンサートなどの事業も、芸術への理解を深め、美術館を活性化させるための重要な活動の一つであると考え開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国内の美術館情勢を見ると、教育普及活動の一環でもある講座開催の重要性はますます深まっている。又、県内でも、これらの活動に関する情報交換は盛んになってきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	講座参加者からは、「体験型のは、興味関心が深まる」との意見があった。特別講演会では、「大変わかりやすく、作品鑑賞の参考にもなった」との感想が寄せられた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市民に対し講座参加の機会を提供することは、地域社会の文化振興に寄与することを目的としている佐野市立美術館条例の趣旨に沿うものであり、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	広く生涯学習の機会を提供することは、美術鑑賞になじみにくさを感じている人にも受け入れやすく、公平性からみても、市が行うことは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	講座参加者のうち佐野市民の占める割合は高い。また、毎回参加率は高く、児童・生徒や、美術館への来館頻度の少ない層の参加も常に一定数見られ、美術館利用者の多様化に貢献していることから、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	毎年開催しているフレスコ画体験教室を除き、その時々展覧会に合わせて行っている。したがって、毎回レベルアップの努力をしているのが実情である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	フレスコ画体験教室では、地元の関連団体から、毎年画材の提供を受けている。コンサートでは、地元活性化団体との共催により、資金援助を受けている。消耗品等は、できるだけ在庫の物を利用しており、これ以上の事業費の削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	講座では、参加者から材料費相当の負担金を徴収しており、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
参加者からは継続して実施を望む声が多い。また、体験教室・講座等、市民の文化向上のため美術館独自のものとして定着、好評であり、廃止すべきではない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					